

第 13 回 八王子市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時	平成 23 年 10 月 12 日（水） 10：00～12：30
場 所	八王子保健所 2F 講堂
議 題	議事 (1) 山間地域交通改善モデル事業について ・モデル事業の実施状況、来年度以降の状況【小津町、醍醐・降宿地域】 ・その他の地域におけるモデル事業の実施状況【紅葉台】 (2) 八王子市の公共交通のあり方について 報告事項 (1) 中心市街地循環バス実証運行について (2) はちバス新コースの経過について (3) バスロケーションシステム導入の経過について (4) 小津町地域バス及び醍醐・降宿地区乗合タクシーの乗車状況について
●議事(1) 山間地域交通改善モデル事業について 小津町地域バスと、降宿醍醐地域乗合タクシー運行事業の概要と経緯について改めて説明した。来年度から国庫補助金が受けられないため、来年度以降事業を行う場合、総事業費を地元と市で負担していかなければならない。市としては現在、八王子市交通空白地域交通事業運営費補助金交付要綱に基づき、総事業費の 2 分の 1 を補助金交付の上限と考えている。 また、高尾紅葉台循環バス運行事業の概要と経緯、自治会内でのバス事業に対する積極的な運営方法について事務局より説明した。 【主な意見、質疑】 ・ バスを導入するにあたり、運行形態についてどのような話が出たのか。 ⇒（事務局）地元と市で、運行形態について比較検討を行ったところ、バス・タクシー・NPO 等の中で乗合バスの運行委託が経済的にも一番良いという話であった。 ・ 小津、醍醐・降宿地域について、収支差額の 2 分の 1 を市が補助するという要綱があるが、今後どのように支えていくかを色々な枠組みで、メリット・デメリットも考えて検討する必要がある。紅葉台に関しては、土日に家族が使いやすいサービスを考えると、乗客数も増えるのではないかな。 ・ 小津、醍醐・降宿地域について、事業費の負担についてもっと地域と一緒に話し合いをしてもらいたい。 ⇒（事務局）日本の経済情勢が厳しい中、八王子市も税収が落ち込んでいるが、事業としては継続していかなければならないので、今後十分な検討が必要と考えている。 ・ 市でも高齢化が進んでいるが、10 年後・20 年後どうなっていくのか。 ⇒（事務局）個々の問題を取り上げるだけでなく、市全体のまちづくりを見据えて公共交通を考えていきたい。 ・ 市は収入を差し引いた 2 分の 1 を基準に補助を行ってきたが、どういう条件のもと、どこまでを市が責任を持つのか議論する必要がある。 ・ 乗合いタクシーが認められる制度にしていきたい。高齢者対策ということであれば、個人への助成金のほうが、使い勝手が良くなるのではないかな。 ・ 他市の例として、グループタクシーという制度がある。参考にしていきたい。 ・ 既存の路線バスを廃止にはしたくないが、恒常的に赤字であると我々バス会社としても存続は厳しい。 ・ 市も高齢化を迎え、既存バスの通勤客数も徐々に減っている。我々バス会社としても検討し、バスの確保維持に努めたい。 ・ 費用負担について考えるにあたり、バスやタクシーを利用した実績が上がった場合何らかの形で評価できるような仕組みを作り、それを支援の目安にするということを考える必要がある。	

- ・ 相乗りタクシーについて国は、事前にどのような形態で行うかという具体的な話をした上で、一般乗用旅客の許可の範囲で判断をしている。
- ・ 市の交通を良くするには、この会議で八王子市という市が全国の先手を打っていけるような施策を考えていく必要がある。

●議事(2) 八王子市の公共交通のあり方について

第12回活性化協議会において、計画の位置づけ、基本理念・基本方針について報告した。そこで今回、第1回目の八王子市公共交通のあり方、基本方針案をまとめたため、現状と課題の整理を中心に、その内容について事務局が説明した。

【主な意見、質疑】

- ・ 従来のやり方を変え、市の特長を出せるよう見せ方にしていく必要がある。
- ・ 福祉交通と公共交通を切り分ける必要はあるのか。
⇒（事務局）市として施策を打ち出すには、分けも必要である。
- ・ バス停について、停留所の数を積極的に増やしていくということをぜひ連携計画に盛り込んでもらいたい。
⇒（事務局）バス停設備の充実を図ることについては、市としても役割を持って積極的に取り組んでいきたい。
- ・ 自転車事業についての話し合いは今後していくのか。
⇒（事務局）この会議はあくまで公共交通について話し合うことが目的なので、自転車については、別の協議の場に委ねたい。
- ・ 連携計画の中に福祉タクシー支援について盛り込んでいただきたい。
⇒（事務局）タクシーやバス会社から申し出があれば、連携計画に反映したい。
- ・ 連携計画については、少し先を見据えた目標を入れていくと良いのではないかな。

●報告事項(1) 中心市街地循環バス実証運行について

中心市街地の活性化を目的に、循環バスの実証実験を行う。利用人数の調査と今後の中心市街地の活性化に必要な交通手段について検証を行う。事務局は、実証実験に至った経緯、内容について説明した。

●報告事項(2) はちバス新コースの経過について

はちバスの新コースである西南部コースの利用状況について事務局が説明した。

●報告事項(3) バスロケーションシステム導入の経過について

第12回八王子市地域公共交通活性化協議会で変更した、八王子市地域公共交通総合連携計画にバスロケーションシステム導入事業を進めていることから、その進捗状況について西東京バスが説明した。

●報告事項(4) 小津、醍醐、降宿地区乗合タクシーの乗車状況について

小津町、醍醐、降宿の地域バスの実績について事務局が説明した。

【主な意見、質疑】

- ・ 循環型であるのに八王子の南口から京王八王子の間はなぜ動かないのか。
⇒（事務局）バス会社との協議で検討したが、別の要望が出る可能性もあるため、今回は中心市街地の活性化を目的としていることから見合わせた。

●閉会

以上